

問 令和5年度決算と市政運営は

答 財源の確保と事業の取捨選択



平野 広行 議員 無会派

○令和5年度決算について以下を問う。

問 市税収入額の前年度対比は。

答 (総務部長) 前年度比3.4%増加。

問 実質収支額、単年度収支額、実質単年度収支額と見解は。

答 実質収支は増加、単年度収支と実質単年度収支は減少。支出が平年度化されたことの要因は単年度収支の減少。

問 直近3年間の経常収支比率の推移と見解は。

答 90%前後と比較的高い状況。経常経費が増加し、下らない状況。

問 実質収支比率は。

答 コロナ禍の影響で高かったが、5年度はコロナ禍前の状況。

問 公債費負担比率は。

答 上昇傾向で、要因は庁舎建設事業債が令和3年度から始まったこと。

問 健全化判断比率における将来負担比率の数値を見て、今後の市政運営に対する見解は。

答 今後も大型事業が予定され、数値が上昇していくことが懸念。

問 令和4年度における市民一人当たりの純資産はいくらか。

答 約123万円。

問 令和5年度決算値を見て、今後の市政運営に対する市民へのメッセージ発信を。

答 (市長) 財源の確保の努力、必要な事業の取捨選択を行い、メリハリをつけた財政運営。

問 農地転用の課題は

答 地元地区への迷惑行為が発生

問 市街化区域内の農地転用は。

答 弥富市農業委員会に届け出をする。

問 農地転用後の地域生活環境悪化に対する市の認識は。

答 騒音や振動、敷地外での迷惑行為を認識。

問 農地転用後の地域生活環境の悪化に対する対策を協議する場合は。

答 (市民生活部長) 令和4年度から地元議員、区会長と連携調整。

問 農地転用後の土地利用変更についての認識は。

答 (建設部長) ヤードに変更された事案を認識。



問 農地利用に対する市長の考えは。

答 (市長) 農業をしっかりと支えていくと同時に、適切な対応と処理をしていく。